

ブラジル最貧困地域における配電網整備によりエネルギー利用の効率化を促進

事業概要

ブラジルペルナンブコ州で配電事業を行うCompanhia Energetica de Pernambuco(CELPE)の電力系統整備への長期融資により、電力供給容量の増加・電力ロス抑制による省エネ促進を図り、もって同州の電力供給の安定化に寄与するもの

本事業のポイント

1.電源多様化による電力系統への負荷増への対応

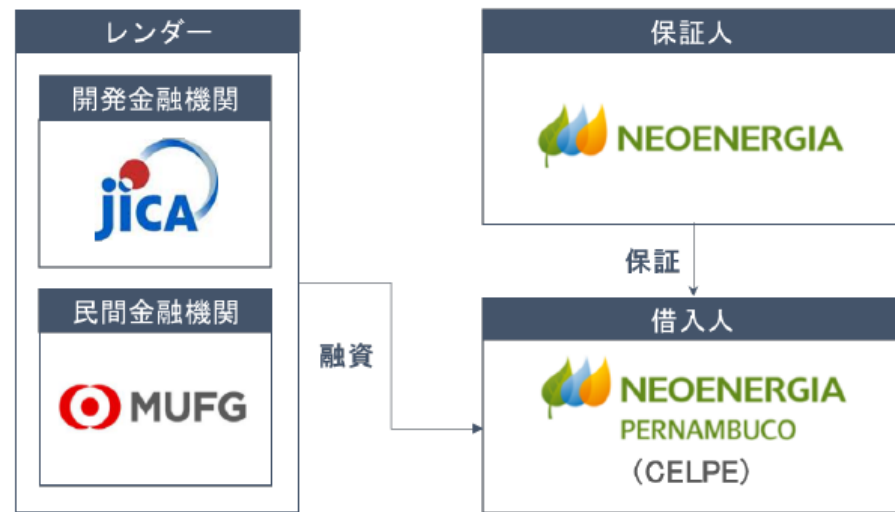
ブラジルは再生エネルギー電源の多様化を推進。一方、多様化により電力系統への負荷増や既存設備の劣化が加速することで、安定かつ効率的な電力供給への影響が懸念される。本事業は同設備の更新等を通して電力供給の安定化に貢献。

2.最貧困地域の事業地は電力系統不安定が成長ボトルネック

再貧困地域のブラジル北東部に位置するペルナンブコ州は貧困対策として産業多角化による経済成長を促進する一方、それに応じた電力供給の拡大および電力系統の拡充・安定化が企業誘致・経済成長のボトルネック。

3.配電網整備による系統安定化でエネルギー利用を効率化

既存設備の改修、系統安定化設備の導入により、系統安定とエネルギー利用の効率化を図る。系統安定による停電頻度減による産業の活性化・地域住民の生活の質の向上、エネルギー利用の効率化による気候変動対策への貢献が期待される。



変電所の点検・改修を行うCELPEの職員